見やすく！ 分かりやすく！ 充実した農業・農村の情報を届けます

全国農業新聞を読もう!!

紙面徹底解説 パンフレット

2024年度版

見やすい！
分かりやすい！
紙面を追求して
週1回発行しています！

全国農業新聞とは

全国農業新聞は、農業委員会ネットワークが発行する農業専門紙です。1952（昭和 27）年に創刊し、2022 年に 70 周年を迎えました。

１週間の農政の動きや現場で役立つ栽培技術・流通の情報、魅力的な農家の取り組みなどを幅広く伝え、担い手の皆様の経営発展に役立つ新聞として高く評価いただいております。

常に、より「見やすい」「分かりやすい」新聞を目指して編集・発行しています。ぜひ１度手に取っていただき、情報収集のツールとして全国農業新聞をご購読いただければ幸いです。

一般社団法人 全国農業会議所

◆発行日／毎週金曜日

◆購読料／新聞本紙＝月額700円（税込）※新聞本紙はもちろん電子新聞も閲覧可能
電子新聞＝月額500円（税込）※電子新聞のみの閲覧

見本紙のご用命、購読のお申し込み、ご相談は、お近くの市町村農業委員会、都道府県農業会議、全国農業新聞ホームページからのお問い合わせやメール等でも受け付けています。
電子新聞のお申し込みは、全国農業新聞ホームページで受け付けています。
メールアドレス●gyoumu@nca.or.jp

ホームページアドレス●
https://www.nca.or.jp/shinbun/

QRコードはこちら

新聞本紙を購読されている方は、電子版も無料で見ることができます！毎号第１面の右下に載るパスワードを専用サイトで入力すればスマートフォンやパソコンから閲覧できる仕組みです。詳しくはホームページへ！

ここがポイント！全国農業新聞

	紙面の内容、特徴
１面	●経済・経営・農地・地域社会問題等、毎週様々なテーマをお伝えします。 週替わりのコラム、特集企画　等　➡ｐ２へ
２面 ３面	●農政ニュースをまとめて掲載。忙しくても１週間の動きがすぐ分かります。 ●その時々の話題の農政や農業用語、技術を分かりやすく解説します。 ●第一線で活躍する農業者にスポットを当てて紹介します。　➡ｐ３へ
経営 流通 技術面 地域 くらし面 （４～６面）	●経営に役立つ管理方法や最新技術、話題の商品、先進農家の取り組みなど、農業経営に役立つヒントが盛りだくさんです。 ●２週・４週は、見開きのワイド面。「より読みやすく」を追求しています。 【４面】経営・販売や労務管理、農村女性の活躍のＱ＆Ａコーナー（週替わり）、新しい技術や商品の紹介　等 【５面】経営に役立つ実務情報を載せます。市況（２週）、マーケット情報（４週）等 ●地域活性化に関する現地事例を紹介します。 【６面】園芸講座（２週・４週）、食生活や農家生活のヒント　等　➡ｐ４、５へ
農業委員会 ネットワーク 通信面 （７面）	●全国の農業委員会の特徴的・先進的活動、活躍を毎週お知らせ。農業委員会活動の参考資料として、**農業委員・推進委員必読**のページです。 ●農地や農家生活の法律相談、農業者年金等、情報提供活動に欠かせない情報が満載。 ●有害鳥獣対策のヒントとなる取り組みを連載。　➡ｐ６へ
地方面 （８面）	●地方ごとの頑張る農業者の記事、農業委員会活動、イベント情報等を掲載。 全国紙ですが地域の話題にも強い！身近な方の頑張りが伝わることで地域農業の活力に繋がります。　➡ｐ７へ

農政の動きとかかわる経済・経営・農地・地域社会問題等、毎週様々なテーマをお伝えします

1　2024年(令和6年)4月5日(金)　全　国　農　業　新　聞　(昭和27年3月11日第3種郵便物認可)　第3324号

農福連携で地域に活力

奈良市 社会福祉法人 青葉仁会

能力や個性を活

支援施設が受け皿に

農業、加工、販売に力

農業、農政問題について、事例や現場の声を盛り込みながら解説します。

＜過去の取り扱い内容＞

働き方改革　家族経営協定の新しいカタチ
未来へつなぐ　活躍する女性委員
農委の決意表明
フォーカス　食料・農業・農村白書
将来図を描く（解説編、事例編）
過渡期の外国人材制度

人権保護、人材確保・育成を両立

過渡期の外国人材制度

就労1年での転籍可能に

週間気象リポート

地帯ごとの気温や降水量の傾向などの気象予報を、すぐに目につく題字下に掲載！答えが気になる「お天気クイズ」にも挑戦を！

全国農業新聞
NATIONAL AGRICULTURAL NEWS
2024年(令和6年)
4月5日 金曜日
月4回金曜日発行
農地を活かし 担い手を応援する
農業委員会ネットワーク機構
発行所 全国農業会議所
〒102-0084 東京都千代田区二番町9の8
中央労働基準協会ビル ☎03-6910-1130
©全国農業会議所2024
ホームページ https://www.nca.or.jp/shinbun
お申し込みは、お近くの農業委員会へどうぞ

水稲用除草剤 ラオウ 好評発売中!

1カ月平均気温

お天気クイズ
桜の木は川沿いに植えられていることが多いですが、それにはある理由があります。一体なぜでしょうか？
答えは3面欄外右上へ

今週の記事から

独創的な花壇苗、次々開発　7

全国農業新聞電子版・スタディあぐり 閲覧用パスワード
（有効期限：4月5日～5月9日）
r 60405

電子版とオンライン講座が無料で見ることができるパスワードを掲載

脳内SDGs　ストラディヴァリウス　漫画家・コラムニスト 辛酸なめ子

4人の執筆者による週替わりのコラム。思わず「あるある！」「そうそう！」とうなずいてしまうような視点が人気です！

脳内SDGs　漫画家・コラムニスト 辛酸なめ子

たにし閑話　プチ生物研究科 谷本　雄治

農の未来へ　石川県農業会議会長 山田　修路

真昼のビール　小説家 瀧羽　麻子

2面（農政ニュースをまとめて確認）
3面（農政・用語解説）

2面の特徴　◆ここだけ読めば１週間の農政の動きが分かる！

農業者はもちろんのこと、農政の動きを把握している必要がある農業委員会をはじめとする農業関係機関の皆様にもおすすめです。　見逃しがちな公募事業情報も発信します。

▶人ひと … 最先端で活躍する農業人にインタビュー

▶ハニワの農地あっせん日記 … ジャーナリストの榊田みどり氏が監修。農業委員会の様々なエピソードを女性委員のハニワさんがマンガで伝えます。

3面の特徴　◆解説に重点を置いた面です

専門家による時事解説や、話題の用語や法律改正、新技術など、農業者に詳しく知っていただきたい内容を農家目線で分かりやすく紹介します。

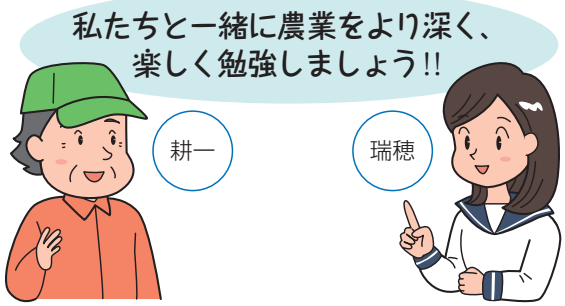
トップの２大注目コーナー

▶なんでも聞いちゃえアグリの話（３週に掲載）

いまさら聞けない○○って何？を対話形式でやさしく解説。新任委員さんや学生さんにもおすすめです。

＜過去の解説記事一例＞

「農業版ＢＣＰ」って何？
適正な価格形成は「悩ましい問題」
増えている「子ども食堂」
スギ花粉発生量、30年後に半減
全ての事業などで環境負荷低減が義務化



いなかに住む瑞穂の伯父（50歳）

都内の普通科高校１年生（16歳）

▶アグリとサイエンス（４週に掲載）

目で見て分かりやすい！最新農業技術を紹介。
４コマ漫画や豊富な写真で解説します。

農業を科学する
アグリとサイエンス
振動がシイタケの成長促し、害虫も防除
～一石二鳥の効果がある振動技術～
振動の周波数と時間の効果解明

2024年４月26日号
「振動がシイタケの成長促し、害虫も防除」より

現場の生の声がわかる

▶農人伝 … 農政ジャーナリスト榊田みどり氏の構成による農業関係者の生きざまを集中連載

▶つれづれ農日記 … 農業者の生の声をじかに感じる！リレー執筆

１週

「モヒカン農家のいる農園」
㈱ファームフレッシュヤマザキ
蒲原の風が育てたお米をお届けします
新潟県　山崎　哲志

２週

「畑と心の四季」
うちやま農園
北海道　内山　佳奈

３週

「自然を愛し、運命に従え」
新規就農20周年
㈲はんだ代表
島根県　反田　孝之

４週

「トロピカルフルーツ栽培の楽しみ♪」
ゆす村農園㈲
元気なアボカド苗木を育てる
鹿児島県　東　愛理

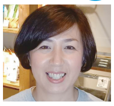
最新の技術や農業機械、先進農家の取り組みを紹介

認定農業者応援宣言！

いきいきファーマー

農業経営でお困りのことはありませんか？
疑問のあれこれを分かりやすいQ＆A形式で解説し、解決に導きます

人材育成相談Q&A
愛知・大口町 服部農園㈲ 米農家の女将 服部都史子



4週

農村起業相談Q&A
新潟・十日町市 women farmers japan㈱ 代表取締役 佐藤可奈子

3週

経営改善相談Q&A
千葉・柏市 ㈲沼南ファーム 橋本 英介

2週

販売促進相談Q&A
広島・三次市 ㈲平田観光農園 代表取締役社長 平田真一

1週

販売促進相談Q&A

広島・三次市 ㈲平田観光農園 代表取締役社長 平田真一

商品を高く売るには？

Q 資材費や燃料、人件費が高騰していく中で商品をもっと高く売りたいと考えています。栽培から気をつけることはありますか？

A 旗艦商品、フラッグシップともいいますが、農園の魂と技術をすべて注ぎ込んでできた農園を象徴する最高品質の農産物です。人や技術、時間といった経営資源には限りがあり、そうそう売れるものでもないので、畑を決めるなどして戦略的に農産物をランク分けするのです。私たちの農園も、最高ランク、販売用、観光用、パフェ用、加工用などに分けて栽培方法を戦略的に工夫しています。

誰にも負けない強みと平均点以上の強みを作ろう

茨城県の有名な野口農園の最高級蓮根「柳蓮田蓮根 國之介」1本5万4千円です。この戦略を自分なりに分析すると、こういうことではないかと思うのです。値段を高くすると、お客さまは理由を知りたくなる。そこで農園の歴史や栽培の思いを伝えられる。そして、こんなに高いんだからきっと素晴らしいに違いない。今買わないと手に入らなくなる。そうして高く売れるから、箱を桐箱にできたり、プロモーションにお金がかけられる。取材も増える。プレゼント需要も増える。結果、さらに売れる。そのトップブランドは畑から数%しか収穫できないが、そのブランドを栽培している農業経営者ということで、下位の農産物がいい価格で売れるという戦略です。

長崎県の五島列島で生産販売される「五島つばき蒸溜所」の「GOTOJIN」1本5千円ですが、生産量にも限りがあり3カ月待ちです。ベースになる蒸留酒にいろんな植物の風味をバランスよくつけて、香りを楽しむお酒です。代表的な植物はジュニパーベリー、カルダモンシードなどですが、ここは五島椿をメインの風味に選んでいます。

これらの例のように、おいしいこと、珍しいことなど、誰にも負けない強みと、それ以外でも平均点以上の強みが二つあれば、同じような戦略をとることができると思います。

◇次回は5月10日付

群馬県高崎市にあるサトウ園芸の佐藤勲代表取締役(60)
品種改良で独創的な花壇苗を次々と開発、全国の園芸家

育苗は委託、良質苗づくりに専念

グ苗の会社で花壇苗の生産を2年間学んだ。

1988年に帰国し、実家の農地にビニールハウスを新設。米国で学んできた技術を活かし、25歳でサトウ園芸を創業した。ちょうどガーデニングブームが始まった時期で、収益性の高い花壇苗づくりに転換した。

市街地にある2棟のハウス（栽培面積計430平方㍍）で春はペチュニア、カリブラコア、ニチニチソウ、マーガレット、秋にはパンジー、ビオラなどを年間通して50品目、約65万鉢生産する。

独学で育種に取り組み試行錯誤の末、2016年にパンジーのオリジナル品種「ドラキュラ」を育成した。花型が球状になりかわいらしい外観とともに、花弁が強く波打ちフリル咲きする妖艶な印象を与える。まるでマントを翻すドラキュラ伯爵のようだ。取引先の園芸店でつけてもらったネーミングは商品のイメージを引き立たせた。

佐藤さんは「突然変異で色や型が偶然出現したものを見逃さず、コツコツと掛け合わせていった」とにこやかに話す。パンジーを小売単価1鉢1千円～1500円のブランドへと押し上げた。これは地元ホームセンターの苗の10倍以上の価格だという。

米国で学んだ栽培技術を活かし苗を生産している佐藤さん

2棟のハウスで年間50品目、約65万鉢生産する

栽培技術では、強い苗を育て長く楽しめる花を、と灌水管理に15年を費やした。水やりは生育状態を見ながら一鉢ずつ丁寧に行う。最盛期は約8時間かかる。大量の水を使うため、地下水をポンプでくみ上げている。

培養土づくりや育苗は専門業者に委託、高品質な苗づくりに専念する。自身で販売価格を設定するといった市場動向の影響を受けない手法を採っており、園芸店と提携し全量を定価で直接販売する。福岡県行橋市にある大型園芸店と連携してネットワークを築くなど、全国約250社の園芸店に出荷している。

SNSやインスタグラムを活用して顧客ニーズを把握、支持を得る。パンジー・ビオラ見学会と題して全国の園芸ファンに試作品を見てもらうイベントを毎年2月に開く。熱心なファンの率直な声が次の品種改良のヒントになっているという。

今後は、海外向けオリジナル品種の販売やマーケットの開拓をめざす。英会話の勉強にも励む。

ゼミナール 農家のSNS—効果的な使い方— ①

SNSとは何か

農業専門ライター 鈴木 雄人

どこにいても自由な使い方が可能

今回から始まる連載は、私自身がSNSを使い農業の情報を発信したり、SNSの講座を受けたり、全国の生産者を取材した中で聞いてきたりした情報を下に、生産者にとってのSNS利用について紐解いていく企画である。

初回は、SNSとは何かについて話をしていきたいと思う。

まず、SNSとは「Social Networking Service」の略称であり、意味としては「社会的な人と人とのつながりを新たに形成したり、深めたりする機能を提供するサービス」のことを指す。代表的な機能でいうと、つぶやきや写真などを投稿、共有したりすることができるものがある。その他にも、共有されたレシピや飲食店が集まる投稿サイト、関係を深めるために使われるメッセージや音声通話なども含まれてくる。

SNSの利用場面としては、距離が離れた人同士が連絡をとる手段や日本にいながら海外の人ともつながることができるなど、友人関係を維持するものに使用したり、新たな友人関係を直接会わなくとも築いたりすることに多く使われる。さらには、企業もSNS内へ参入しており、個人間だけでなく企業と個人のようなコミュニケーションの形も可能となるのだ。

また、近年はコミュニケーションだけでなく、店舗の検索など情報取得の手段として利用されることも少なくない。サービスによって形成されたコミュニティーを使った集客の手段として利用されることもしばしば見受けられる。

こういったように、利用者によってさまざまな使い方が可能であり、地方や都心など関係なく、どこにいても自由な使い方ができるのがSNSの最大の特徴である。

第2回では、具体的にSNSにはどんなサービスがあるのか。農業と相性のいいSNSは何か。について紐解いていきたい。

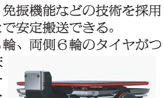
話題 屋外搬送用走行ロボット開発へ

日本精工㈱（東京都品川区）は、整備されていない路面でも荷物を安定して搬送できる屋外搬送用走行ロボット＝写真＝の開発を始める。2025年の販売をめざすという。

ロボットの活用は凹凸のある路面やスロープの走行が困難なこと、路面状態によって荷物の搬送が不安定になることなどの課題があった。

同社独自の振り子構造による姿勢維持や、免振機能などの技術を採用することで安定搬送できる。

片側3輪、両側6輪のタイヤがついた低床ボディーに荷台を載せた。



積載量は最大50㌔。凹凸のある路面や最大50㍉の段差、傾斜10度でも安定して搬送できる。

カメラによる3D認識で高精度に周辺環境を把握し、屋外や狭い通路でも走行を可能にする。

〈問い合わせ〉☎03・3779・7053

新商品 充電を自動で行うロボット芝刈機

㈱マキタ（愛知県安城市）は、18Vリチウムイオンバッテリーを内蔵した芝刈りと充電を自動で行うロボット芝刈機「ロボットモアRM350D」＝写真＝を発売している。

バッテリーが内蔵されていて残量を自動認識、充電量が少なくなると自動で充電ステーションに帰還、充電を行う。充電は約40分で、充電完了後は再度芝刈りを行う。目標の刈高さに設定することで、常に刈りそろった美しい芝を実現する。

1充電時間当たりの連続作業時間は2時間15分。最大作業面積は約3500平方㍍。

公共施設や事業所の緑地、校庭や園庭、一般住宅などの作業に適す。衝突を検知すると障害物から自動で離れ、持ち上げや急斜面を検知すると刃物の回転を一時的に停止し、衝突時や刃物でのケガを防ぐ。

〈問い合わせ〉☎0566・98・1711

話題 ジュースやスイーツに向くイチゴ

ジュースバーなどを運営する㈱青木商店（福島県郡山市）と農研機構はこのほど、加工に向いたイチゴの新品種「af01」を共同で育成した。

2018年から育成を進めてきたもので、青木商店は「af01」をオリジナルブランド「アオハルカ」（商標出願中）＝写真＝として全国で展開するジュースバー事業やフルーツタルト＆カフェ事業のジュースやスムージー、フルーツタルトなどに使って販売する。

良食味でビタミンCの含有量が豊富。高い抗酸化活性を持っている。ビタミンC含有量は、一般的なイチゴが生果100㌘当たり62㍉㌘に対して97㍉㌘（1月収穫分の調査）と約1.5倍含まれる。同社は、運営する果実専門店と飲食店の計4ブランドで青果や同品種を使ったスイーツなどのメニューを期間・店舗限定で販売する。

各メーカーなどで開発された新技術・新品種や新発売の農業機械、資材をご紹介します。

ゼミナール

マーケティングや農業技術、税金等経営に役立つハウツー情報を連載形式で解説します。

5面、6面（経営・流通）※２週、４週限定！

経営に役立つヒントがたくさん

**２週・４週は見開きのワイド面でお送りします。
レイアウトを新聞の枠にとらわれない斬新な形に
挑戦し、今まで以上に読みやすい紙面を目指します。**

5 面はここに注目

◆２週、４週共通

老若男女問わず農業者の皆様注目！

経営に役立つ管理方法や技術、話題の商品や注目技術など経営に役立つ実務情報が盛りだくさん。

◆２週は市況に特化！

野菜 東京　野菜 大阪　果物　食肉 鶏卵

市況はここでチェック！

東京、大阪市場を巡るトピックや果物、食肉鶏卵の市況をご紹介します。

◆４週はマーケット情報に特化！

…農産物流通・販売の専門家が解説します。

青果物流通最前線

流通ジャーナリスト　小林　彰一

国産野菜の話題と動きを解説

マーケティング アイ

マーケティングプロデューサー　平岡　豊

地域における直売所や商品づくりを解説

スーパーの食品流通

流通ライター　渡辺　米英

スーパーの農産物流通の話題・解説

米取引概況

㈱米穀データバンク　平　　丞

米の価格や流通状況など徹底解説

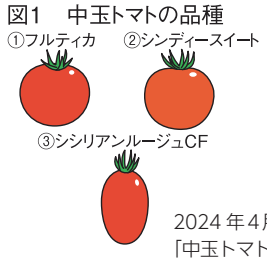
6 面はここに注目

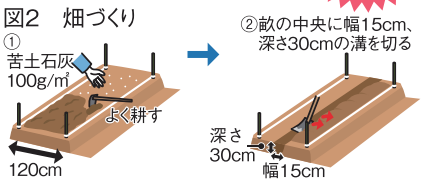
分かりやすい
イラスト付き！

人気記事

TV でも大人気、藤田智教授の解説により、野菜づくりのコツを学べます。

新規就農者の皆様、新しい作物の栽培に挑戦される皆様を応援します！





2024 年 4 月 26 日号
「中玉トマトの栽培－甘くおいしい収穫を楽しもう！－(1)」の回より

いずれ訪れる「次世代継承」。

その際に必要になる手続きについて解説します。（２週に掲載）

健康に過ごすためには正しい食生活が重要です。発酵食など、「健康」につながる食べ方をご紹介します。（４週に掲載）

列島最前線

農家や住民が地域活性化を目指す取り組み事例をご紹介します。

月に２回、各地から集まる美味しいごちそうをプレゼント‼

7面
（農業委員会ネットワーク通信面）

全国の農業委員会の活躍を毎週お知らせします。

農業委員会ネットワーク通信

毎週、農業委員会等の活動事例を紹介します。１年間で47都道府県の事例を取り上げます。
事例は、遊休農地解消のための活動や目標地図作成など、**農地利用最適化の業務を行う上で欠かせない内容**です。

農業委員会活動のテキストとして、**毎週**お目通しください。他地域の事例を知ることで新たな視点が生まれ、活動の幅が広がります。

人気記事

農業委員会ネットワーク通信　農地を活かし担い手を応援する

2024年（令和6年）4月19日（金）　全　国

STOP ストップ 鳥獣害 402

テレメトリーでニホンザルを探す山﨑さん（右端）

青森県むつ市在住で、NPO法人北限の野生動物管理センター（同県佐井村）の理事などを務める山﨑秀春さん(75)は、下北地域におけるニホンザルの被害対策に取り組み、被害の大幅な低減に貢献してきた。行政職員として「下北半島鳥獣被害対策市町村等連絡会議」の設立に携わり、「広域的な被害対策の実施体制を主導。退職後は同法人やNPO法人北限のニホンザルネットワークを立ち上げ、ニホンザルの生息状況調査などを継続的に取り組んでいる。

本州最北に位置する北半島。1970年、同地に生息するニホンザル群、187頭（保護目的による餌付けもしていた）が、次第に個体数・群れが増え、生息地が拡大。農作物被害も増えた。

山﨑さんは80年、旧脇野沢村教育委員として「鳥獣害対策に関する広域的な連携の必要性を感じた。当時の生息数は700頭。当時の生息数は7群、187頭。保護目的による餌付けもしていたが、次第に個体数・群れが増え、生息地が拡大。農作物被害も増えた。

2007年、下北地域全体では

23年度 鳥獣対策優良活動表彰 ③

農村振興局長賞被害防止部門（個人）

青森・むつ市　山﨑秀春さん

広域連携し総合的なニホンザル

（右から）タブレットで回答する鎌田さん、宇佐見農業委員、鬼澤推進委員、小松崎推進委員、事務局の鬼澤さん、下農業委員会サポートシステムで色分けされた地図

ード で回答

委員会は、農地利用最適化推進員35人で構成。農地の見回りや、農地のあっせん、農業者とのマッチングなどにあたっている。

向調査

では現在、や地権者の意向を聞き取の姿である。

内16地区を農業委員・推進委員で班編成し実施。班ごとに配布されているタブレットで現地確認アプリを活用し、遊休農地の調査などを行っている。

農業委員会では2023年度から、目標地図の素案作りのために担い手から今後の農業経営などの意向調査を進めている。調査対象は、市内750経営体を超える農家のうち、認定農業者と3ha以上の農家約120人に絞り込んだ。農業委員会事務局で二次元コードのついた調査票を印刷し、委員が戸別訪問をして配布する。スマートフォンなどで二次元コードを読み込めば回答ページにつながり入力できる仕組みで、5月末までの回収を予定している。

同市徳宿地区の鬼澤直行推進委員（65）は、「二次元コードを活用できない人には、委員が意向を聞きながらタブレットに打ち込んでいく」と話す。農業委員・推進委員が寄り添うことで、回収率を上げている。

データはサポートシステムに登録 より精度の高い地図作成へ

入手したデータは、事務局の農業委員会サポートシステムに登録される。地域での話し合いが進められる。

委員と相談しながらタブレットから将来の経営意向を入力したイチゴ農家の鎌田悟志さん（47）は、「地区はハウスによる施設園芸が中心で担い手の多い地域。担い手の確保のためにも今後の農家の意向確認は重要」と語る。

地域の農業者からの意向確認を積極的に進めている宇佐見達夫農業委員（47）と小松崎晃喜推進委員（49）は、「農業を若い人たちに魅力のある、かっこよく、楽しく、もうかる職業にしたい」と話していた。

委員必読 効率化

STOP ストップ 鳥獣害

全国農業新聞読者の関心度が最も高い記事といえばこれ！**全国各地の鳥獣害対策事例**は、地元での対策の参考になるという多くの声をいただいています。

石澤清美の郷土食材レシピ【茨城県】

（1人分496kcalロリー）

カリフラワーライスドリア

◆材料（4人分）　カリフラワー・ご飯各300g、タマネギ100g、むきエビ250g、ピーマン2個、バター・こめ油各20g、米粉大さじ3、牛乳500mL、塩・こしょう

ソメスープの素小さじ1

◆作り方　❶カリフラワーはみじん切りにしてご飯と混ぜ、軽く塩・こしょうをしてグラタン皿に広げる。ピーマンは細切りにして散らす。❷タマネギはみじん切り、エビは1～2等に切る。❸バ

色が変わったら米粉を加えて粉っぽさがなくなるまで炒め、塩、こしょう、スープの素、牛乳を注いで混ぜながらとろみをつける。❹の上に広げ、さらにチーズをのせオーブントースターでこんがり焼き色がつくまで7～10分焼く。

農業委員会ネットワーク通信と連動した郷土食材を使った料理のレシピをご紹介します。
１・３週▶石澤清美先生　２・４週▶今泉久美先生

◆農業委員・農地利用最適化推進委員だけでなく農業経営者も役に立つ連載

農地の法律相談

監修●弁護士 井上 龍子（渥美坂井法律事務所・外国法共同事業）

Pick Up!

農地に関する困ったあれこれをQ＆A形式で掲載。賃借、相続など、さまざまな相談対応の参考になります。（1週に掲載）

農委活動の道しるべ

委員必読

農業委員会活動の活性化に役立つ情報を通年掲載します。

農と村のルネサンス

持続可能な地域社会総合研究所　所長　藤山 浩

農業と地域活性化に向けたコラムです。（2週に掲載）

農業と土地政策

明治大学名誉教授　青山 佾

土地改革が大転換期を迎える中、歴史から農業・農地制度を考えるコラムです。（4週に掲載）

知って得する 農家の法律知識

弁護士　西村 隆（松田綜合法律事務所）

農家生活にまつわる法律をQ&A形式で解説します。（3週に掲載）

地方版

地域の農業・食がぐっと身近に

全国紙かつ**地域の話題**にも強い新聞です

＜地元のこんな情報が手に入ります＞

●特徴的な経営を行う経営体
●イベント情報
⇒地元だから視察に行きやすい、イベントに参加しやすい！

●頑張る新規就農者、活躍する若手、女性農業者のご紹介
⇒ご近所さんが、直売所で手に取った商品の生産者が、身近なあの人が載っているかも…

●特産品や新商品
⇒知らなかった地元の隠れた名物が見つかるかも！

週ごと、地域ごとにお届けする版が変わります。

※下記表は目安です。月ごとに変動する場合がございます
※地方総合版とは、ブロックに関係なく様々な都道府県の記事が載る面です

ブロック	1週	2週	3週	4週
北海道	北海道・東北版	地方総合版	北海道	東日本地方総合版
東北			県版（岩手、福島） ※青森、宮城、秋田、山形は「東北各支局の話題」	
関　東	関東版		県版（茨城、栃木、群馬） ※埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨は首都圏版	
東　海	東海版		中日本地方総合版	地方総合版
北信越	北信越版			県版（新潟、長野） ※富山、石川、福井は北陸版
近　畿	近畿版			県版（京都） ※滋賀、大阪、兵庫、奈良、和歌山は地方総合版
中　国	中国版		西日本地方総合版	地方総合版
四　国	四国版			地方総合版
九州・沖縄	九州・沖縄版			県版（長崎、熊本、宮崎、鹿児島） ※福岡、佐賀、大分、沖縄は地方総合版